



中国ではその昔、旧暦の5月に病気が流行り、亡くなる方が多くいました。邪気払いとして菖蒲を家の軒先に吊るし、菖蒲の葉を浮かべた酒を飲んで身を清めたことが、端午の節句の由来とされています。

中国の端午の節句の風習は、奈良時代に日本へ伝わり、発展・定着したと考えられています。「端午」とは、5月の最初の午(うま)の日のことを指します。「午(ご)」という文字の音と「五」の語呂合わせから、5月5日が端午の節句として親しまれるようになったといわれています。こどもの日は、法律で定められている国民の祝日です。内閣府は、こどもの日を「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」という祝日であると定めています。

親は子どもの健やかな成長や幸せを願い、子どもは両親に感謝の気持ちをもつ日という意味が込められているのです。

ご利用者様募集中

在宅での生活を様々な角度からサポートする為の女性スタッフが3名います。

現在、ご利用者様を募集中です。在宅での生活でお困りの方や高齢者を介護されるご家族の方などの



ご相談をお受けいたします。是非お問い合わせ下さい。
お電話お待ちしております。

在宅介護支援センター
☎(0584) 73-4007(直通)



ボランティア募集中

興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

☎(0584) 78-6050
(担当: 中島)



編集後記

4月に入っても、新型コロナウイルス感染者が増え続けています。当施設でも、面会を中止したり、施設内に入る場合は体温を測ったりと対策をしています。楽しみにしていた行事も中止になってしまいご利用者様も窮屈な思いをされ、何か楽しいことができないか職員一同考えていきたいと思っています。

広報紙は、ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.biyoukai.dr-clinic.jp>



あおぞら

2020年 5月号 (第268号)

老健西濃だより

編集・発行

医療法人薬城会 老人保健施設 西濃

発行責任者 施設長 佐々 寛己

〒503-0893 大垣市藤江町6-3-1

☎(0584) 78-6050

デイケアおやつレク ～桜もち作り～

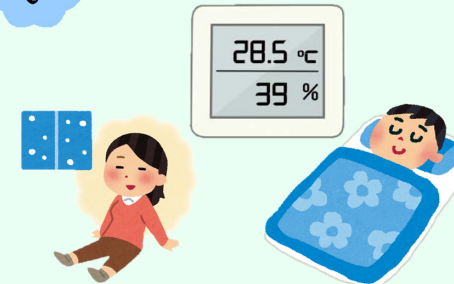


春と言えば、桜。淡いピンク色が可愛い「桜もち」は、桜の時期にだけ楽しむことができる春の和菓子です。実はこの「桜もち」、関東風と関西風で全く異なるんですよ。4月23日(木)、24日(金)にデイケアで関東風の桜もちを作りました。生地をほんのりピンクにし焼き上げた後、あんを生地と桜の葉で包みました。おいしくて、ご利用者様のほっぺも桜色になっていました。

コロナウイルス対策!!

感染予防クイズ

Q1 感染予防として間違っていることは？



- 部屋を乾燥させる
- 十分な睡眠をとる
- 外出をしない

答 部屋を乾燥させる
空気が乾燥していると、喉の粘膜の防御機能が低下します。加湿器などを使い、適切な湿度を保ちましょう。

Q2 家族の感染が疑わしい場合、したほうがいいことは？



- 部屋を分ける
- 限られた人で世話をする
- リネン、衣服を洗濯する
- すべて

答 すべて
部屋を分け、できるだけ限られた方でお世話をして下さい。こまめに手洗い、消毒、換気、洗濯も行いましょう。

Q3 3つ揃うとクラスター発生のリスクが高いといわれている「3つの密」にあてはまらないものは？



- 換気の悪い密閉空間
- 多数が集まる密集場所
- 間近で会話や発声をする密接場所
- 感染を秘密にしておくこと

答 感染したことを秘密にする。
外出するときは、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」がそろった場所は避けましょう。

正しいマスクのつけ方



みんなで手を洗いましょう!!



相談室の紹介

当施設の相談室には、4名の支援相談員と1名の施設ケアマネージャーが在籍しております。デイケア、ショートステイ、入所にかかわる支援を行っています。

Q 仕事内容は？

- ・施設の入退所の手続き、サービスの利用開始や中止に関する業務
- ・ご利用者及びご家族に対する相談援助
- ・ケアマネージャー、他機関、地域との連絡、調整
- ・介護スタッフのサポート
- ・ご意見などへの対応、窓口業務
- ・ケアプラン作成、援助

「相談・連携・調整」の役割があります。

Q 気を付けていることは？

ご利用者様、ご家族様の気持ちを傾聴し、平等な立場で支援することを心掛けています。また、職員間でも思いやりの気持ちを忘れず、悩みを相談しやすい環境作りに努め「笑顔で楽しく」がモットーです。

Q やりがいは？

ご家族の方から「入所して本人の表情が明るくなった」「家族の負担を軽減でき、助かっている」「ありがとう」などと言ってもらえた時。入所の方が在宅復帰をし、当施設のデイケアの利用時に元気な姿をみることが出来た時。デイでは、ご利用者様が住み慣れた地域で安心して生活が出来るように情報共有し地域の一員として関わりを持てた時。